

第 4 9 号

2008年2月29日

北海校校友会事務局

札幌市豊平区旭町4丁目1の41

北海高校内 TEL841-1161

編集責任者 山口 富雄

編 集 者 由 岡 芳 隆

北 海 校 友 だ よ り

衆星のこれに共うがごとし

—校長に就任して—

校 長 北 明 邦 雄



この度はからずも杉本和紀先生の後をうけて北海高校の校長に就任することになりました。もとより浅学非才の身ではありますが、北海の歴史に新しい前進の一步を記すことができるよう、微力を尽していきたくと決意しています。校友の皆様の変わらぬ御支援をお願いする次第です。

とここで、北海高校は今年創立一二三周年を迎えます。一二三年たっても変わらないもの、それは質実剛健・百折不撓の精神と星の校章です。質実剛健は旧制中学校の時代から多くの学校が校訓として掲げており、必ずしも北海に固有のものではありません。南高(一中)の校訓も「質実剛健・堅忍不拔」です。他方百折不撓は、北海高校が創立九〇周年を迎えたとき、それまでの北中―北海高校の歴史を総括する中で新たに掲げた「建学以来の基本精神」です。その根拠は、北海中学校を創った浅羽靖先生の学訓二六条の中、「真ノ勇ハ不屈不撓、万難ヲ排シテ邁進シ、克ク久シキニ耐ヘ死ニ至ルマデ廢セズ」という一節に基づいています。言葉としては新しいのですが、まぎれもなく北海の歴史の底流にあつた精神です。星を校章とする学校はいくつもあります。たとえば北星学園が聖書の教え(フィリ

ピの信徒への手紙)に基づいているように、その由来はそれぞれに異なります。北海の場合は『論語』為政篇の「子曰わく、政を為すに徳を以てすれば、譬えば北辰の其所に居て衆星のこれに共うがごとし」という記述によります。「政治をするのに道徳によつていけば、ちょうど北極星が自分の場所において、多くの星がその方に向かってあいさつしているようになるものだ」の意味です(金谷 治訳)。当時の生徒も次のように詠んでいます。「藻岩の山の峰高く、豊平川の水清き 石狩の野の学びの舎 身を立て道を修めんと とわに動かぬ北辰の 健児の心我校旗」。また激励歌にも「衆星むかう北辰は 我が北海のしるしなり」とあります。見られるよ

うに、それは何よりも北海生は天空の中央で動かない北極星になれ、そういう徳をもつた人間になれ、という教えでした。しかし、もうひとつ別の視点からの解釈も可能なのではないかと最近思い始めています。つまり北極星になれということは、北極星になるまでは北海生はそれをとり囲む衆星でもあり衆星でもあるのです。ここまできると、次のように考えてみたくなりま。戸津高知先生が「君たちは窓の外に群がって咲くタンポポだ」と言ったとき、それはもしかすると北極星をとりまく衆星のイメージと重なつていたのではないのでしょうか。こう考えるのは勝手すぎるでしょうか。

共学になつた現在もブレザータイプの制服の胸ボタンと袖ボタンには星のマークがかたどられ、「SINCE 1885」と書かれています。春三月、一二三年の歴史を背負つた若者が、先輩のようにあるいは先輩に負けまいとして、いま天空に向かって大きく羽ばたこうとしています。

杉本校長ご退職と 北明新校長をお迎えして

北海校校友会 会長
(北中41期) 倭 昭 三



平成も早や20年の幕開けを
終わり、相変わらず内外の諸
情勢はきびしく激動して止み
ません。

このときに当り、平成19年
3月に退職されました杉本和
紀前校長の教育信条の根源と
も言える座右の銘に接し、誠
に心打たれるものがあり、私
なりにこの機会を借りまして
杉本前校長が心の拠り所とし
て高校教育の実践活動に活か
された2つの座右の銘をあら
ためて肝に銘じ、ご紹介いた
したく校友だよりに掲載した次
第です。これをもちまして杉
本前校長に関する記述に代え
させて頂きました。

その1
不易流行

◎不易は詩的生命の「基本的
な永速性」を有する体。
◎流行は詩における流転の相
で「その時々の新風」の体。
この二体は共に風雅の域から
出るもので、根元においては

おのれが花である外はなし

教頭 山 崎 省 一

一に帰すべきものと言われて
いる格調の高い芭蕉の俳諧用
語の一つです。

その2
一片冰心在玉壺
これは一片の氷のように澄
み切った心境を表し、「名利
を求めず品行の高雅な形容」

とあり実に奥床しい限りです。
以上極めて簡潔に要点のみ
を列挙致しましたが、これ等
の理念を取り入れ実行された
第9代杉本校長には、その間
北海道社会貢献賞並びに私学
功労者等の榮譽を受け、永年
のお勤めに花を添えられまし
た。後任10代校長には北明邦
雄教頭先生がご就任になり誠
に頼もしい限りです。
ご抱負を活かし健康にご留
意され、北海高校のより良き
発展とご健闘をご期待申しあ
げます。

ばで心残りだったでしょうが、
そのご生涯は立派な花を咲か
せたと信じます。金山先生を
偲びつつ、北海の教師である
ことの幸せと重さを改めて思
つたりしております。

もうおひとり、私の師事
した文芸評論家・菱川善夫先
生です。12月に78歳でお亡く
なりになりました。菱川先生
は、この北の地にあつて独自
の批評を全国に発信しつつけ
ました。最後まで執筆活動を
休止することなく、完全燃焼
のご生涯だったといえます。
評論家の田中綾さんが、北海
道新聞紙上で菱川先生の孤高
の文学精神を伝える歌として
中城ふみ子の作を引いていま
す。

凍土に花の咲かずと嘆く
半歳はおのれが花である
外はなし

「おのれが花である外はな
し」という覚悟と志は、北海
高校の教育の根幹とどこか重
なるものがあるのではないか、
そんなことを考えながら新し
い年を迎えました。校友諸氏
のご健勝とご活躍を心よりお
祈り申し上げます。



今年度から図らずも教頭職
を仰せつかりました。北明校
長を支え、北海高校のさらな

る発展のためにベストを尽く
して取り組む所存です。校友
の皆様のお力添えを切にお願
い申し上げます。
昨年末、私は、親しくさせ
ていただいたおふたりの方を
相次いで喪うという哀しみの
中におりました。
11月には本校英語科の金山
和弘先生が59歳で逝去されま

した。5年の間、病と闘いな
がら、最後まで教壇への情熱
を持ちつづけておられました。
葬儀には驚くほど多くの卒業
生や生徒が参列し、改めて教
え子に信頼され慕われた金山
先生の生き方を思います。北
海の教師であることを何より
も誇りとし、教え子を宝とし
て生きてこられました。道半

「校友の集い」のおおそい

一期一会の気持ちで、皆様をお迎えしたい

テーマ 未来永劫なり『北海魂』

高28期 実行委員長 青木 繁幸

「校友の集い」の企画致しました。地に開拓精神の熱い魂をもつて創設されてから、本年度123年の歴史を迎えます。

多くの先輩諸氏が築きあげてくれた伝統の「質実剛健・百折不撓」の精神で鍛えられた校友たちが、再び熱く語り合

える集いを企画致しました。そして、未来永劫なり『北海魂』をテーマとして、次の後輩へ引き継ぎ、更なる校友たちの躍進を確認し合い、笑顔で次年度への再会を約束できる校友の集いを開催致します。

クラス会とは違い、同級生

だけでなく、当時大変お世話になった先生方、先輩方、後輩達など懐かしい顔に会えます。私も10年程前より出席させて頂いたのですが、普段会えない方、連絡が途絶えた方もいらして、とても感慨深い一日になると思います。私も卒業して32



2007年度「校友の集い」から

年が過ぎました。長いようで短く感じますが、在学中の思い出や、青春時代の出来事などを話したり、思い出したりしてほんのひと時ですが、昔に戻れるような気がします。男女共学になり9年が過ちますが、まだ若い方の参加が少なく感じます。これからの若い世代の方にも参加できる環境作りも考えたいと思います。老若男女が集う新しい校友の集いにして行きたいと思

い合せの上、多数のご参加をお待ち致しております。最後にありますが、一生に一度の当番幹事の大役をお任せ付かりました高校の関係諸氏に深く感謝を申し上げます。ともに、創立123周年の校友の集いが、会員の皆様の心に残りますように、28期全員

の力で精一杯努めたいと存じますので、御支援、御鞭撻の程、宜しく御協力下さいませ。

二〇〇八年 校友の集いのご案内

開催日	平成20年5月23日(金)
受付開始	17時30分より 総会 18時00分より
校友の集い	18時30分〜20時30分迄
会費	6,000円
会場	ルネッサンス サッポロ ホテル 札幌市豊平区豊平4条1丁目1の1
電話	821の1111

校友の集いを 終えてーお礼ー

高校27期 小林 和市

『北海校校友の集い』の幹事を高校27期の我々が務めることになり、先輩、後輩のご支援、ご協力を頂き、無事に開催し終えることができ感謝の気持ちでいっぱいです。事務長の本藤さん、校友の集い担当教員の由岡先生には、我々が現役時代からお世話になり、今回におきましても貴重なご意見、ご指導を頂き、当日を迎える事ができました。新校長の北明校長は、我々27期が現役の時、初めての担任

を持った期と伺い、何かの縁があるのだなと感じました。我々が現役の時、どちらかというと運動部が活発な時代でした。現在の北海高校は、国立大学に何人も進学するような、優秀な生徒が集まり、私学の進学校として、有名なようです。時代とともに校風も少しずつ変わっていくと思いますが、北海高校創立時の基本精神「質実剛健」・「百折不撓」このような北海高校の伝統なども現役の生徒に少しでも伝えていって頂ければと思います。現役生徒の皆さん、北海高校を卒業する男女を問わず「北海健児」です。いつの日か、「北海校校友の集い」でお会いしましょう。

新任紹介

母校愛に支えられて

国語科 坪岡 英明



昨年3月まで15年間公立学校の教員として、名寄東中学校、小樽水産高等学校、留萌高等学校の3校に勤務し、このたび、縁あって本校にお世話になることとなりました。

歴史と伝統ある北海高等学校の職員として私自身の新たな一歩を踏み出すにあたり、身の引き締まる思いで新年度を迎えてから約一年が経ちました。

この一年間、素直で向上心旺盛な生徒諸君、学校の活動に惜しみないご支援とご協力をくださったる保護者の皆様、温

かく知識と経験豊富な職員の皆様、そして、母校愛に満ちた校友会の皆様を支えられ、職務を遂行することができました。また、この四者の結びつきの強さが伝統校としての数々の実績と学校の活力の原点であることを認識させられているところでです。

すばらしい校歌と建学の精神のもとで、多くの魅力ある方々との出会いに恵まれながら教育活動に携わることができ、たいへん嬉しく感じております。公立学校での経験を生かしながら、本校の職員として、また、硬式野球部の顧問として、少しでもお役に立てるよう、微力ではありますが、職務に精励する所存でございます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

「大きな未成品をつくる」

社会科 油谷 哲郎



教師を志して間もなく、心を強く打たれる言葉に出会った。それは「教育とは、小さな未成品をつくることではな

い。大きな未成品をつくることだ。」というものである。私は北海高校47期生である。高校時代を振り返ると、男ばかりの集団の中で、時に厳しい指導あり、また時に笑いあり涙ありと、様々な人間模様をたつた3年間ではあったが、多くを感じ吸収することができた。

OBの諸先輩方には、政財

英語で発信できる生徒を

英語科 中島 正人



鞭をとっておりました。

北海高校の第一印象は「校舎が広くてきれい」「生徒が生き生きとし、挨拶がきちんとできる」ことです。以前は比較的、小規模な学校に勤めていたということもあり、初めにの全校集会で体育館ぎつしりに埋め尽くされた生徒を見て驚きました。また、落ち

この度、ご縁がありまして北海高校に赴任することになりました中島正人と申します。以前は学習塾や公立高校で教

着いた雰囲気の中、文武両道

界をはじめ、各分野において功成り名を遂げた人が少なくない。その背景には、生徒達を親身になって支え、正しく導いてくれた恩師と、決して不正義を許さない人間性・人間愛にあふれていた学校があったからであろう。

しっかりと地に足をつけた教育を展開し、目の前の生徒達と真剣に向き合う中で「大きな未成品」をつくる。私にとって今後30年間の教師生活で最大の課題となることは間違いない。

で頑張っている生徒が数多くおり感心しています。

担当教科は英語です。グローバル化している現在、子供たちがいかに自分の意見を英語で発信していけるかどうかまたそれを見据えた授業を展開していくことが私の目標であります。

子ども、教員、保護者、地域の皆さんとともに、より良い学校づくりを目指して行きたいと思えます。よろしくお願いたします。

二〇〇七年度進路決定状況

(中間報告)

北海高校進路指導部長

野田 郁夫



第60期(共学7期)生である404名が卒業の時を迎えました。それぞれの生徒たちが自らの進路をしっかりと見定め、多様な方向に進んでいくこととなりました。60期生は、進路希望を実現させるために、放課後講習や各種模擬試験に積極的に取り組むとともに、朝読書や朝学習、持ち帰り課題などに積極的に取り組んできました。また、看護系希望者のための「ふれあい看護体験」も企画しましたが、割り当て数が希望者数に満たず、選考せざるを得ない状況

でありました。冬休みに入り、一般受験に向けて学校で自習している姿も多数見られます。2月14日現在の全体状況は次の通りです。

就職内定者は3名です。当初の就職希望者は3名でしたので、就職率は100%です。近年、就職希望者は1ヶ台台となつていますが、道内の景気低迷を反映して、求人厳しいものとなつています。今後とも校友の皆さんのお力添えをお願いいたします。

とはできませんでした。なお、近年指定校推薦が増え、今年是全国102の大学・短大、35の専門学校から指定校としての通知を受け取りました。2008年2月14日現在の合格状況は次の通りです。

「大学・短大」

3年生の9割は4年制以上の大学への進学を希望しています。国公立大学希望者も増加傾向にあり、センター型私大受験も含みますが、今年の大学入試センター試験出願者は、211名でした。1・2年生も、約半数が国公立大学を第一希望としています。現在、AO入試や推薦入試等で、北海道教育大学、札幌市立大学など国公立大学7名を含め、104名が合格を決めています。また、北海学園大学へ90名、北海商科大学へ17名の推薦も決定しています。北海学園大学への併設校推薦は、107名の枠がありますが、工学部希望者が少なかつたために、107名を推薦するこ

専門学校へは、38名が合格しています。最近の専門学校志望者数は、3年生のほぼ1割程度となつております。その希望者の中でも、医療・看護系への進学希望者が多く今年の38名の内、14名は医療・看護系でした。

短大合格者は、国公立の1

- 小樽商大2、北海道教育大3、札幌市立大2、旭川大1、札幌大3、札幌大谷大1、札幌学院大14、天使大2、東海大1、道都大4、藤女子大5、北翔大2、北星学園大1、北海学園大1部(公募制推薦)
- 2、北海学園大2部5、北海道医療大5、北海道工業大28、北海道情報大1、北海道文教大1、北海道薬科大2、酪農学園大2。
- 仙台大1、青山学院大1、桜美林大1、専修大3、拓殖大2、中央大3、中央学院大1、帝京大2、東京女子医科大1、東京未来大1、立教大1、愛知学院大1、大谷大1。
- 国立清水海上技術短期大学校1、札幌大谷大短大部2、札幌国際大短大部1、北海道武蔵女子短大2、創価女子短大1、大阪芸大短大部1。

「専門学校」

- エコ・コミュニケーション
- 専門学校1、大原法律公務員専門学校2、経専学園経専調理製菓専門学校3、札幌医療秘書福祉専門学校1、札幌歯科学院専門学校1、札幌商工会議所付属専門学校1、札幌ビジネスアカデミー専門学校2、札幌ビューティーアート専門学校1、札幌スクールオブビジネス2、札幌マンガ・アニメ学院1、専門学校北海道保健看護大学校1、西野学園札幌リハビリテーション専門学校2、日本ビジネススクール1、日本航空専門学校4、北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校2、北海道歯科技術専門学校2、北海道製菓専門学校1、北海道柔道整復専門学校2、北海道ハイテクノロジー専門学校2、北海道美容専門学校1、吉田学園医療歯科専門学校1、吉田学園情報ビジネス専門学校1、東京アナウンス学院1、東京スクールオブミュージック専門学校1、新日鐵八幡記念看護専門学校1。
- 札幌刑務所1、北海道警察1、元気寿司株式会社1、株式会社セノン1。

〈二〇〇七年度〉

運動部の活動状況

運動部長 斉藤文雄

平成19年度北海高校の運動部の活動状況は、諸先輩が築き上げてきた伝統と歴史から見るとあまり良い結果ではなかったように思います。

日曜祭日も休みなく部員と顧問とが懸命に頑張りましたが、高体連の全国大会に出場した部は団体、個人で新体操部個人だけで柔道部の男子2人・女子2人の計4名の2部と水泳同好会1つ。

国民体育大会に出場した部は3部、全日本等の大会には

2部が出場しました。

高体連全国大会の新体操部は水野紅音・一文字舞・高橋杏子・越田紗小梨・杉林由華・小川舞・西田美咲・本間聖美で臨みました。

柔道部は男子66kg級の2年生の木村諒が5位に入賞、90kg級の山口真史は2回戦に進出。女子57kg級上森まりな2回戦、63kg級高島慧巳も同じく2回戦進出しました。

今年、1月現在で高校選抜大会に出場が決定しているの

は3月に行われる空手部・陸上ホッケー部の2部です。

今のままであれば運動部の

衰退が目に見えてくるのではないかと思います。

顧問も、選手も頑張っています

が、他の私学においては特待生制度の導入等だけの問題ではなく、

色々な問題があると思いますが、選手の確保を懸命に行っています。



弓道部の練習より



卓球部一練習の合い間に

北海高校の現在の状況ではこれも仕方ないことかと思われます。現状を打破するためには、部員達の頑張りや顧問の先生方の努力は無論のこと諸先輩方・諸先生のお力添えが今ほど必要なきはありませぬ。今後とも後輩のため、母校北海高等学校のため諸先輩の物心両面にわたるお力添えをよろしくお願いする次第です。

渡辺由香理さん バトントワンド・ジュニア 世界第1位に

8月、カナダ・ハミルトン市で開催されたバトントワリングの第3回WBTFTインターナショナルカップのジュニア・スリーバトンの部で、本校1年9組の渡辺由香理さんは、アメリカ等世界11カ国の選手を抑え、見事優勝した。由香理さんがバトンを始めたのは4歳の時。2歳年上の千晶さんがやっているのを見て「楽しそう」と思ったのがきっかけだった。

9月27日前期修了式において、学校長より表彰状を授与された。

戸田智美さん(3年) 全国青年弁論 大会で優秀賞

弁論部副部長戸田智美さん(3年)は、昨年8月に島根県東出雲町で開催された第31回全国高等学校総合文化祭弁論部門に出場。続いて、11月に福岡県久留米市で開催された第52回文部科学大臣杯全国青年弁論大会に出場し、中高生の部において、優秀賞を獲得した。

〈二〇〇七年度〉

文化部の活動状況

文化部長 由岡芳隆

今年度の文化部の活動は、創造性、多様性に見るべきものがあつた。

概略は次の通りである。今後のさらなる活躍を望みたい。

吹奏楽局

今年度私たちは「最響揺心」の言葉を中心に据え精神的に活動してきた。第4回定期演奏会をかてる2・7で行い、無事盛大に終了した。

美術部

第49回学生美術全道展―全員(16名)が入選、優秀賞は部長の村田愛莉、奨励賞が副部長の登石利彩。

第19回有島青少年絵画展―

村田愛莉が北海道教育長賞、奨励賞は登石利彩と佐藤誠。

その他、入選は8名であつた。

2月に大丸藤井セントラルにて第98回どんぐり会展が開催された。

将棋部

現在、1年生1名、2年生

4名の計5名で活動している。

活動日は放課後、週2回。活動内容は練習対局と将棋ソフトを用いた研究、さらに書籍による戦法や定跡、手筋などの研究をしている。今年度の秋季地区大会では団体戦で3位に入賞した。

演劇部

演劇部は、日常的には発声練習等の基礎練習をし、年2回の公演(学校祭での公演と高文連での舞台)に向け活動している。教育文化会館で行われる高文連では、音響・照明・舞台装置・役者・舞台監督・演出担当へ分かれ、劇作りに取り組む。

コンピュータ部

毎週月曜日から金曜日まで、コンピュータ実習室及び部室で活動している。昨年度は文化棟に部室を獲得し、更に今年度はコンピュータも増設し、放課後、部員はインターネットの他様々な目的で活動

している。

合唱部

今年度は3年生4名、計18名での活動であつた。男子の新入部員が入部せず、2年生の男子部員4名のレベルを上げて頑張っている。今年度の活動としては、高文連への参加、NHK学校音楽コンクールへの参加、全日本合唱コンクール北海道支部大会への出場などである。

新聞局

今年度は『北海高校新聞』150号から153号まで年4号発行。部員2名が取材、編集などに精力的に取り組んだ。10月、北海道新聞社主催全道新聞コンクールに151号を出品し、最優秀賞にあたる総合賞を受賞した。

写真部

部員全員が支部大会上位を独占。全道大会(稚内)に出場した。全員での全道は14年連続。小森なつみ、矢作紗知が、来年度の全国大会(群馬)への出場を決めた。

また、第7回全道写真コンクールでも1年渡辺、宮田、2年大友が最優秀を獲得して全国行きを決め、計5名が出場する。全国出場は4年連続となつた。

文芸部

今年度は支部大会の当番校をつとめ、部員は大活躍であつた。全道大会には、小説1名、詩2名、短歌1名が進出し、佐藤の小説「繋がる」は全国大会で入選した。昨年からは始めた学校祭での文芸誌を今年も発行することができた。

インターアクト・クラブ

札幌市内の知的障害者施設との交流と支援活動、学校祭でのチャリティバザーや授産施設製品の共同販売事業に取り組んだ。また、韓国の木浦市にある養護施設『共生園』へ衣料品の提供等の支援活動を行った。

JRC

あしなが育英会募金、赤い羽根共同募金などへの協力、鴨々川の清掃、養護施設への支援等のボランティア活動を中心に取り組んだ。また、他団体と提携し、使用済み切手

の収集を通して、福祉活動への支援を行った。

放送局

学校祭や体育祭などの学校行事や、朝放送、昼放送を担当。また、高文連放送コンテスト、NHK杯放送コンテストに向けて、日々精力的に練習に励む。

弁論部

副部長の戸田智美が第31回全国高総文祭に出場。高文連全道大会では部長の内藤泰葉が優秀賞獲得。戸田も優秀賞を獲得し、第52回文部科学大臣杯全国青年弁論大会に出場。優秀賞を受賞した。2年村山勇暉が来年度開催される第32回全国高総文祭に出場する。

英語研究部

今年度は新入生が5名入部して賑やかになった。通常の活動の他に、LCI高校からの生徒との交流会を企画したり、学校祭の展示に参加するなど、活動の幅を広げる事が出来た。春にはプロック大語学研修へ2名の部員が派遣される。

書道部

部員2名、毎週火曜日に活動。全道学生書道展に出品し秀作2点、佳作1点の結果であつた。



長いようで短かった40年の現役生活が正に終了しようとしている。今日まで、大過無く、そして、さしたる病気をすることなく過ごすことができたのは、お付き合いをしていただいたすべての皆様の

賜物であり、本当に感謝したい。クラス担任も数多く経験し、その時代の様々な青春ドラマに出会って、そのたびに感動したものである。軟式野球部においても、30年間、務めあげることができた。そし

様々な出合い・感動

森 弘之

退職するに当たって

スキー部とともに38年

本 藤 司



憧れの北海高校に入學しすぐにスキー部に入部。3年間頑張った全日本選手権出場が精一杯の私は、北海の名物教師の指導に自分も教師になり自分の果たせなかった夢を生徒に実現してもらいたいと体育教師になりました。縁あつ

て母校で勤務することになり、あつという間の38年でした。教師として先輩としてスキー部員と練習に励み、全国大会・国体へと数多くの部員を出場させることが出来ました。中でも、世界ジュニア選手権・ワールドカップ日本代表と

て、選手、その保護者、野球関係者など多くの方々との深い拘りを持つことができた。その中で沢山の事を勉強させてもらい、それが私の人間的成長の貴重な一助になったことを重ねて心より感謝したい。

今、1年10組の担任を持っている。かなりの年齢差を感じているが、有意義に生徒と一緒に頑張ることができ、毎日が楽しい。私の現役の引退と生徒の2年への進級とが大きな別れ道になるがそれも人生だと割り切っている。

なり世界に挑戦する選手にも恵まれました。夢を少しでも果たせたかな。

平成16年、学校方針から私が退職後スキー部は廃部になることを学校長から告げられびつくりする傍ら、私を支えてくれたOB、父母になんと言っていいのか言葉になりませんでした。100年もの伝統あるクラブ、世界大会、オリンピック選手を数多く輩出したクラブが一瞬で無くなるのです。38年間私を支えてくれたOB・その他多くの方に心より感謝します。ありがとうございました。そして北海高校スキー部万歳・万歳。

細田将太郎君(1年)
26年ぶりの快挙
—スキー、ジャンプ—

全国高校スキー、ジャンプ競技において、本校1年生の細田将太郎君が、北海道勢最高の2位タイに入った。1回目76・5m、2回目80m。本校では82年の坂口昇平(2位)以来、26年ぶりの同種目での快挙であった。

札幌宮の森中学出身の細田君は、幼いときから大倉山・宮の森ジャンプ台を見て育った。

本人は優勝を狙っていたらしく「2回目はうまくいきませんでした。栃本さんのいないことは勝たなかった」と悔しげな表情を見せた。北海道大会では栃本翔平君(北海道尚志学園3年)に次ぐ2位。その栃本君がW杯札幌大会出場でインターハイを欠場したことで、目標を優勝においていた。21日から始まる世界ジュニア(ポーランド)では、上位入賞を期待したい。

杉本前校長

文部科学省 教育者表彰受賞



前校長の杉本和紀先生(現・北海学園監事)が平成19年度の教育者表彰(文部科学大臣表彰)を受賞されました。教育者表彰は、学校教育の振興に関し特に顕著に功績をあげた教育者に贈られるものです。今年度の受賞者は全国で156名(うち本道関係者は4名、私学関係者は13名)でした。杉本先生は、多年にわたる学校教育の運営、私学振興に尽くした功績が高く評価され、今回の受賞となりまし

た。心からお慶び申し上げます。杉本先生の栄誉は、北海道の誇りでもあり喜びに堪えません。

杉本先生は昭和40年より北海道に勤務され、社会科(世界史)の教員として熱心に教科指導に取り組まれる傍ら、部活動においても卓越した指導力を発揮されました。昭和42年から軟式野球部顧問、昭和52年からは硬式野球部長を務められ、北海道の発展に尽力されました。特に平成6年には第76回夏の甲子園でベスト8、国体優勝という実績を残されました。この間、校務では図書視聴覚部長、進路指導部長などの要職も務められ、特に平成4年からのコース導入(特進コース・進学コース)にあたっては中心的な役割を果たされました。平成7年に北海道高校第9代校長に就任され、平成11年には男女共学を実現、今日に至

る北海道の発展を導かれました。平成18年には、北海道社会貢献賞を受賞されております。平成19年3月に退職されるまで42年間の長きにわたり、北海道の教育にご尽力されましたことに改めて感謝申し上げます。

(山崎 省一教頭)

倭 校友会会長 札幌市産業 経済功労者 表彰受ける

平成19年12月13日、倭昭三氏は札幌の発展に貢献されたとして、北大の青木由直名誉教授他8名の1人として、中央区のホテルにて上田市長から表彰された。

1963年から始まった同表彰は今年で45回目。

席上、上田市長は「札幌がここまで大きなまち、世界に注目されるまちになったのは、皆さんの努力なくしてはあり得なかった。今後も札幌の発展のために尽してほしい」と祝辞を述べた。

この度、北海校友会に入会するにあたり、第60期卒業生を代表致しましてご挨拶申し上げます。歴史と伝統のある北海の



第60期卒業生あいさつ 125周年に向けて 前生徒会長 鈴木 佑規

ています。また、本校は間もなく125周年を迎え、今まで以上に向上の道を進んで行って欲しいと思います。そのために私達60期卒業生は現北海道で活躍されている方々の支えになり、素晴らしい125周年を迎えたいと思います。

一世紀と四半世紀、気の遠くなる歳月です。その間、本校卒業生の目覚ましい活躍、地道なご努力は、私達には何よりも心強い道標です。北海の卒業生はよくタンポポに例えられます。全国どこへ行ってもその足跡と出会えるだけでなく、踏まれても挫けない不撓の精神が読み取れます。

私達60期卒業生は今後自分達の道を歩むことになりませんが、北海を卒業した事を誇りに思い、日々精進して参りたいと思います。そしていつの日かまた皆さんにお会い出来ることを祈りつつ第60期卒業生代表のご挨拶とさせていただきます。どうぞ皆様これからも宜しくお願い致します。

礎を築き上げてこられた皆様と共に活動出来ることは非常に嬉しい事であり、同時に北海のOB・OGとしての責任をひしひしと感じ

卒業生からの寄稿

限らないが、例えば
二〇〇一年(平成一三年)一〇月の『六義園の集い』は一七名のエッセイを採録していて、よくこの同期会の特徴を物語る。旅行体験記、身辺雑記などの多い中に在って、とりわけある時期から同期の浜口武人君の応援歌関連の興味深い問題提

一九九五(平成七)年、北大を停年退官のあと東京九段の二松学舎に七年、退休後もそのまま関東圏に僑居し、合せて一二年、早いものである。「われらが北海の日日パートⅡ」(五〇年記念誌、一九九九平成一年)に載っている私自身の葉書には「東京の同期会には昨年今年と出席、多くの人は卒業以来初めての出会いでした」と見えるから、私が東京同期会に出席するようにしてからでも九年を超えようか。

東京同期会では、個個人の近況、関心事等を文章化して配布、話題に供することが尠くない。春秋の二回、常にこのかたちをとるとは、もとより

- 『壮行歌』誕生から八〇年(二〇〇四―平成一六一年六月)
- 『北海応援歌』に新たな息吹きを(『北海』三七号、二〇〇四―平成一六一年二月)
- 『激励歌』の真実(東京同期会配布手稿、二〇〇七―平成一九一年五月、改訂版。二〇〇七―平



四番、「衆生むかう北辰は」の「衆生」を「衆星」に、等等となるわけであるが、その復元を要する根拠、換言すれば改変の生いた時代的背景に関する考察は鋭く、それらに賛意を表し続けてきたわけである。

さて、その驥尾に付して言えば、激励歌の第一番「文を右にし武を左、ありのすさびのスポーツに」の「ありのす

高校2期

松川 健二

の色を濃くしているが、大沢千亀先生が激励歌の歌詞を作られた頃は、これ程ではなかったに相違ない。アマチュアスポーツの純粋な意味での存在理由は、明確に識者によって意識されていたものと思われるのである。敗戦の直後、学者の方はさておき、卓球に没頭していた身として、今にして追憶すれば、それはまさに「ありのすさび」つまり「在

起が目立つようになった。それらの内容はいま整理されて、
○ 『北海応援歌考』(『北海校友だより』四四号、二〇〇三―平成一五一年三月)、及び『北海高校新聞』(一三二号、同年七月)に転載。
○ 『北海応援歌考』その後(二〇〇三―平成一五

成一九一年九月)などの諸篇に結実している。それらの問題提起のなかで、具体的な歌詞復元の提唱のことに限って言えば、壮行歌の第二番、「追うや聖戦中原の夢」の「聖戦」を「征戦」に、同じく「悲憤の涙幾たび語る」の「幾たび語る」を「幾たびか垂る」に、激励歌の第

るにまかせてする」いわゆる「プレー」であった。来し方を回想するにつけ狂瀾を既倒に廻らすことの難しさを思うのである。

更には言えば、CDの歌詞集の同じく激励歌の第三番に、「空もどろく合唱の」とある。ここは以前のものは「どろろ」となっていた筈で、雅俗の問題に属し、意味の大きな変更を伴わないから看過し得ようが、「ありのすさび」というような典拠ある言葉は最低大沢先生の為に活かして差上げなければなるまいと、重ねて思う次第。

(〇七・一〇・一〇)

卒業生の動向

枅内忠男先生(北中39期)

道新文化賞を受賞

枅内忠男先生が2007年度の北海道新聞文化賞、社会部門を受賞しました。この社会部門の外に、経済部門、学術部門があります。表彰式は11月6日、札幌グランドホテルで行なわれました。

先生は1997年に北海道文化賞、2002年に文化庁地域文化賞を受賞されており、此度の賞は道内の美術振興をけん引されたことへの賞です。1974年、第28回には同じく社会部門で本郷新先生(北中19期卒)が受賞しています。



枅内忠男先生—受賞祝賀会で—

先生は北海中学の美術部とめぐり会で制作に励み、その後、母校の北海道高校で38年間美術教育に専念されました。先生の生徒に与えた影響は非常に大きく、今年2月に大丸藤井セントラルで開催されたどんぐり会展もあと2年後に

は100回展を迎えることになりませんが、先生はどんぐり会の先輩の意思をしっかりと受け継ぎ、その基礎を作った方です。

また、先生は全道美術協会の創立から出品され、62年間のために努力されてきました。中央の独立展においても毎年大作を出品され、その若々しいフレッシュな気持ちや絵に対する情熱は私たちの励

みとなっております。先日、先生のアトリエを拝見した時もたくさんの未完の作品があり、常に制作に没頭されている先生の姿勢はとても美しいと感じました。

これからも、お身体に留意され、益々素晴らしい作品を発表していただきたいと思ひます。

(北海高校芸術科 川本泰博)

サッカー日本代表

山瀬功治選手 (高52期)

好アシスト 2ゴール

2008キリンチャレンジカップで、ボスニア・ヘルツェゴビナと対戦した日本は、00年に本校卒業の山瀬功治選手が1アシスト2ゴールの活躍で3対1で勝利した。同選手は全得点に絡んだことにな

る。「1点目は嘉人(大久保)がいいところに出てくれた。2点目もラッキーでした。パンさん(播戸)がいいところにヘッドを落としてくれましたから」と感想を語った。

山瀬選手は、岡田監督が数年前、左ひざを故障していた山瀬選手を浦和から獲得したことで知られる逸材である。山瀬選手の優れた点は、いかなる場面でも点に絡む闘争心だ。2月6日に行われたタイ戦では、日本が4対1で勝利したが、直接ゴールはなかったものの、好アシスト等ここでも山瀬選手の活躍が光った。今後、日本のサッカーがW杯予選をぐくり抜ける立役者になってもらいたいものだ。

賢氏

(高校2期)

朝倉

札幌芸術賞受賞

札幌市は11月15日、文化芸術振興に貢献のあった個人や団体を表彰する本年度の「札幌芸術賞」「札幌文化奨励賞」の贈呈式を、札幌市中央区内のホテルで行った。

芸術賞は、本校高校2期卒業、放送作家の朝倉賢氏(75歳)Ⅱ西区Ⅱが受賞した。

贈呈式では、上田文雄札幌市長が「札幌の芸術文化の普及と発展に協力してほしい」とあいさつし、同氏に表彰状と副賞の賞金を授与した。

同氏の受賞の他、芸術家の木嶋良治氏(71歳)、書道家の小原道城氏(69歳)の3人、文化奨励賞は、洋舞家の大杉洋子さん(53歳)、作曲家の南聡氏(52歳)の2人、合わせて5名の方々が受賞した。

支部・同期会の動き

支部旗完成

東京支部



平成19年度の東京支部総会を、例年になく大盛況のうち、70名の参加者を向かえ幕を下ろしました。本年度が始まってすぐのこと、1月12日

衝撃が走ったのです。現役の陸連役員であった、菊地支部長が他界し、右往左往した事と、後任に巡りて苦勞した思いが、頭の中を駆け巡りました。東京支部がやっと軌道に乗って来た矢先の出来事であり、まるで舵の取れなくなった船のように、目標を失ってしまったのです。思い起こせば、菊地健吉前支部長の功績は、偉大であり、長く続いた東京支部低迷期から、力強く我々を導き出し、向って行く方向性を決め、舵を取ってくれた事でありました。我々の目標は、前支部長の実績と、やり残した思いを胸に、長谷地孝一新支部長を先頭に、支部役員一丸と今回、支部会員念願であった、ホームページの立ち上げと、支部旗の完成により、より一層の参加者を集結出来るよう、総会で約束する事が出来ました。平成20年度は、100名以上の総会にするよう、頑張っていく所存であります。

(高校26期 伊藤 敏夫)

熱き思い 語りあう 道南支部

平成19年11月17日函館市湯の浜ホテルで今年度の総会及び懇親会を開催しました。

出席者は17名で今回は日頃、母校の発展充実に活躍されておられます校友会副会長の箱崎徹さんをお迎えし、ご助言、ご指導を頂戴し会の運営を盛り上げて頂きました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。支部は会員の皆さんとの連携を密にし校友会活動の活発化を計るため、函館へ転勤されてこられた方々の情報等を得た時は、会員名簿を作成し、当校友会の会合等にお誘いし参加していただくなどの交流に務めております。今回は出席者の皆様に3分間スピーチをお願いし思い出、現況など広



範多岐にわたってお話していただきませう。そしてなんと多くは、わが青春、素晴らしいものに最も飢えてるその時代に熱き思いを馳せ尽きぬ想いを脈々と語られました。我々は更なる発展に、熊石町、全道一の「寿」のます屋「遠藤応援団長よろしく」の校歌の斉唱を行ない、健康で再会を誓い閉会しました。

(道南支部長 滝本 洋一)

今年甲子園を語りたい 西日本支部

平成19年6月15日大阪梅田に於いて開催しました。支部会員対象者は50名程いるとの事ですが総会当日出席者は10名でした。支部運営費の納入者は出席者の他に15名でした。西日本支部についても範囲が広く出席者は大阪2名兵庫2名三重1名奈良1名京都3名和歌山1名といった具合でした。しか

も先輩者が多く若い会員が少なく大変でした。しかし総会には本部支部長会に出席した佐々木支部長から母校の現況や情報報告があり特に新入生の応募状況の好調が伝えられ皆は安心しました。懇親会はアルコールの勢いもあり盛りまりました。最後は校歌や応援歌を合唱し散会しました。本総会には校長、東京支部、室蘭支部などから祝電を頂き有難うございました。只残念だったのは甲子園出場の話がなく(在甲子園)の支部としては不満でした。追々総会の後、一部会員が集り高齢者の同期者の者がどんどん減り、年金生活者の余暇の過ごし方としても年々淋しくなるばかり。これから支部とは別に時々逢う事とした会の会として進行する事としました。

女子卒業生も招いて 釧根支部

2007年11月3日、釧根支部のお招きをいただき、「校友の集い」この日北海高校では偶々中学生に対する学校公開の日であったので、学校側からの出席はなく、退職者の小生が代表ということになった。

また、私共夫婦が喜寿を迎えたと知って、出席した皆さんで祝って下さるご感激であった。釧根支部では、例を他支部にも呼びかけ、転勤などで釧路から移動した会員も参加し、更に可能な限り夫人同伴で参加するアットホームな「校友の集い」として校友会を育てていくのは良いことだ。

今回は、初めて参加する校友に加えて、釧路市内の大学に学ぶ女子の卒業生も招かれ会に彩を添えた。釧路市は、かつての繁栄した漁港の面影は無く、祭日というのに街は

会長は永井寿昭君とし(提案者)第1回は11月16日開催し年2回以上集る事としました。



閑散としていた。しかし、会場では校歌斉唱に始まった宴が、恒例の「北海ダービー」では、2次会の会費を稼ぐ者もいて、時間を惜しみつつお聞きとなった。(松竹谷 智)



健児手をとり 睦み合う 〔高8期〕

我が同期会は、06年9月に卒業50周年を記念し、07年10月には古希を祝して開催した。幹事連の変わらぬ情熱により、連続31回の回数を重ねている。

近年の『健児の集まり』(校歌2番)は30名程度で、しかも、ほぼ常連化しつつあるが、それでも、Uターン組・本州からの初参加者が毎年少数名おり、元気で懐かしく『健児手をとり睦み合う』(校歌3番)再び会を続けている。
さて、母校は今年で開校123年



支部・同期会 の動き

の壮大な歴史を刻む。その間、『武』の勢いは往時ほどではないが、『文』の面(弁論・吹奏楽・美術・写真等)では、全国へ이스での活躍(特に)昨年5月の全国弁論大会での優勝)が各種報道を賑わせ、先輩連一同も鼻を高くしたところである。
我が8期会の開催時期は、これまでの「雪祭りの頃」から、一昨年以降、9月10月の行楽期に変更しており、今年もニューフェース、カムバック仲間登壇を切望している。(出口 嘉雄)

ゴルフコンペで 交流 〔高12期〕

我々高校12期は、幹事会を年1回(毎年2月頃)と有志の集いを年2回(毎年7月頃と12月頃)定例開催しています。

幹事会は代表幹事、事務局長、事務局次長、各クラス幹事で構成され、その年の主な行事予定、同期生の動向、決算報告等話し合われます。
有志の集いは事務局が段取りした上、各クラス幹事に連絡し、各クラス幹事が札幌市内と近郊在住の主な方々に連絡する事としています。我々期は66歳で病いや死等毎年数名ずつ出席出来ない堪え難い現実がある反面、退職を期に今迄あまり出席出来なかつた方々の出席があり、毎回30名前後集って、旧友と親睦を深めています。

昨年は7月6日夏のレクをゴルフとパークゴルフ組に別かれて各々ブレイした後、札幌市保養センターで汗を流して1泊の懇親会を行なった他、12月8日忘年会をホテルポールのスター札幌で行ない、次回も元気な再会を約束して和気藹藹のうち閉会しました。同期会は5年ごとの開催で、次回は卒業50周年を平成21年度に予定しています。(杉下 道昭)

応援歌で盛り あがる 〔高16期〕

我々高校16期獅子の会は今年我々の同期生が支配人をしている定山溪観光ホテル山溪苑にて温泉1泊で開催した。当日は早朝より真駒内ゴルフ場にて3組12名の参加のもとゴルフコンペが行なわれ優勝は今年3月に退職しゴルフに専念していた晴山重男君が獲得しました。夜の総会・懇親会は遠くは大阪から奥芝君、長野から吉澤君、さらに病気で大変だった藤井君も元気に参加し総勢30名のもとで行なわれ総会では任期満了に付き役員改選も行なわれ昨年のメンバー全員再任と1名の追加で12名の役員が決定致しました。懇親会では吉澤君の乾杯で始まり全員の

近況報告なども有り、盛大に盛り上がり、1次会の最後には応援団副団長の晴山重男君のエルで応援歌N O 1校歌斉唱をやり1次会は終了。2次会も合わせ、楽しい一日を過ごした。最後の万歳三唱は坂田君が音頭を取り又来年再会しようとの散会となりました。(長 光雄)



若さ失わず、 夢を 〔高20期〕

私達20期成人会は、昨年3度のゴルフコンペと納涼焼肉パーティーを1度と今年に入り新年会を開きました。ゴルフは6月5日ツキサムゴルフで7月14日は千歳空港ゴルフで10月23日はクラークゴルフで行い心地好い汗を流しました。納涼焼肉パーティーは札幌競馬場内ビール園でビール片手に焼肉を食べ近況を語り皆で小額のお金を集め小さなギャンブルを楽しんだり、北大試験農場の暗闇の向こうに輝く札幌の夜景と、その上に赤く写し出された月の景観が美しい事に驚かされました。今年に入り1月12日居酒屋『千暮里』で新

共学1期生
同期会
スタート 〔高54期〕

共学1期でもある私たち高校54期は、昨年の12月30日に札幌市内の「鴨サロ」で同期会を行ない、約60名ほどが集いました。昨年初めて校友会に参加させていただきましたが、

年会を開催し美味しい料理と美酒で一同は若者の如く夜更けまで興じました。私達同期は今年・来年・再来年と還暦を迎えます。私達はいつまでも若さを失わず夢を持ち続けて行きたいと思っています。次回の同期会は4月12日を予定しております。恩師の先生を囲み思い出深い楽しい会にしたいと思います。



そのときの先輩方の活気と結束力に感銘を受け、私たちも先輩方に近づけるように、という思いで同期会を開きました。男子校時代の伝統をこれからも次の世代に受け継いでいこうと思います。(工藤 良太)

校友会各支部・同期会
の様子お知らせ下さい。

事務局

平成18年度 北海校校友会決算書 (平成19年3月23日現在)

平成18年度 特別会計決算報告書 (平成19年3月23日現在)

一般会計

Table with 5 columns: 項目, 予算, 決算, 増減, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 在校生会費, 終身会費・年会費, 雑収入, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算, 決算, 増減, 摘要. Rows include 新校友歓迎費, 印刷費, 同期会支部総会補助費, 会議費, 事務運営費, 通信費, 慶弔費, 旅費交通費, 生徒会機関誌費, 積立基金, 予備費, 振込手数料, 次年度繰越金, 合計.

☆次期繰越金 北洋銀行豊平支店 普通預金 495478 1,704,373

校友の集い決算書

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 会費, ご祝儀, 広告料, 雑収入, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 会場費, アトラクション, 印刷費, 記念品費, 雑費, 合計.

7,058,003 - 5,486,285 = 1,571,718

積立基金

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 一般会計より, 総会残, 雑収入, 合計.

Table with 2 columns: 普通預金, 定期預金. Rows include 0506556, 0368660 with amounts.

奨学金維持会費

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Rows include 前年度繰越金, 維持会費, 利息, 合計.

Table with 1 column: 普通預金. Row includes 0538476.

平成19年度 北海校校友会予算

Table with 3 columns: 項目, 予算, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 在校生会費, 終身会費・年会費, 雑収入, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 予算, 摘要. Rows include 新校友歓迎費, 印刷費.

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 同期会支部総会補助費, 会議費, 事務運営費, 通信費, 慶弔費, 旅費交通費, 生徒会機関誌費, 積立基金, 予備費, 振込手数料, 借入金返済, 次年度繰越金, 合計.

Table with 2 columns: 流動資産, 固定資産. Rows include 金銭信託受益権, 貸付信託受益証券, 合計.

現金出納簿および預金通帳、定期預金証書並びに関係書類と照合の結果正当に経理されていることを確認致しました。

平成19年3月23日 北海校校友会会長 倭 昭 三 殿 会計監査員 橋本昌浩 ◎ 会計監査員 早坂一雄 ◎



国内における今年1年の主な出来事を振り返つてみたい。9月12日、安倍首相が退陣を表明した。夏の参院選での与党大敗を受け内閣改造に踏み切つたものの政権浮揚を果たせなかつた。臨時国会で重要課題のインド洋における海上自衛隊による給油活動継続にめどが立たず、健康問題も抱えていたのが主な理由とされた。首相の突然の退陣を受け、福田康夫・元官房長官が、第91代、58人目の首相に就任した。

大手菓子メーカー、食肉製造加工会社、和菓子老舗、高級料亭のグループ会社等、一連の食品偽装事件に加えて政界にも偽年金記録の発覚等が続き、今年の世相を表す漢字が「偽」と決定された。また、世界規模で地球温暖化がいよいよ深刻化し、異常気象、海面上昇による様々な被害など早急な対策を要する災害が顕著になった。その世相の中で、本校では奉職以来37年に亘り北海の英

平成年 1組 俵谷 翔也 ◎ 柿崎 里沙 2組 一平 浦本やよい 3組 貫 ◎ 大月 明香 4組 亮 藤巻千穂子 5組 一樹 竹ヶ原美奈 6組 洋平 藤田美智代 7組 翔平 佐々木 瑤 8組 智秀 幅田 友絵 9組 大樹 熊谷ひかる 10組 成小 小林紗也佳 ◎印代表幹事

《高校第60期》 校友会幹事